

WE

じいじばあば

パラダイス



私たちがつくる“未来の介護”





高校生からみた安房地域ってこんな地域



- お店や施設、移動手段などが増えれば、買い物へ行けない高齢者や若者も気軽に行きやすくなり、いろいろな問題が解決できるんじゃないかな。
- 子供の頃は田舎でも楽しかったけど、遊びに行くのに交通費などが高く、不便に感じるようになった。
- この街がもっと充実してくれれば、働く場所や、若い人も増えて、活気づくと思う。
- 福祉の授業で車いすやアイマスクを使って歩く体験をした時に、普段は感じないような怖さを感じ、高齢者が多い地域だからもっとバリアフリー化が進めば優しい街になるなと思った。



じつは…。

環境の整備以前に安房地域でも介護人材の不足が深刻になっています。



介護人材の不足について高校生と話してみた

鴨川市内では、介護職員の不足から、やむを得ず廃止した事業所もありました。介護の事業所や市では一人でも多くの介護職員を増やしていきたいと思っています。長狭高校の福祉コースで勉強しているみんなは、介護の仕事に興味があるの？



今年の3年生は、福祉の学びを通して様々な職種を知った結果、保育士や看護師、社会福祉士などを目指す人がいます。また、高校入学と同時にコロナ禍になってしまい、実習等で、介護職の魅力に触れる機会が少なく残念でした。



ところで

福祉の勉強のきっかけは？

- 福祉関係の仕事に興味があった。将来福祉の仕事がしたい。
- 福祉の知識は将来役に立つし、進路の選択に幅が広がる。
- 他のコースよりは魅力的だった。他の学校にない、めずらしい科目だった。
- 介護職員初任者研修の資格が取れる。
- 身近な人に高齢者が多く、今後必要になると感じた。
- 少しでも福祉の知識があれば、家族の支えになると思った。



大人だけの考えを発信するより、若い高校生の考えを取り入れ、

若い人が感じる**“介護職の魅力”**を発信していきたいと思います。

コロナが落ち着いたタイミングでサロンなどの機会を通じて、一緒に高齢者と交流し、楽しい時間をつくってみよう。



高齢者サロンへ行こう

先生「去年は、コロナ禍で高齢者施設実習に行けなかったから、今年高齢者サロンに行くことにしました。」

生徒「サロンって何をやるの？どんなところ？」

先生「地域で生活する高齢者が集まって、お話ししたり体操したり、レクリエーションをやる場所だよ。そこで、みんなにはレクリエーションを作成してもらいます。」



高齢者サロンとは

自宅から通える身近な場所に、高齢者の方が気軽に集まり、地域の方々同士で楽しく交流することができる場を「高齢者サロン」といいます。

身近な地域で仲間づくりを進めることは、外出の機会を増やし、閉じこもりや認知症予防につながり、健康を維持するためにはとても大切な活動のひとつです。

生徒「なんか楽しそうだね！去年は実習も行けなかったから嬉しい！」



Let's go



地域の高齢者サロンに行ってみた



地域の高齢者の困りごと ⇨ 困りごとに対して高校生が考えたこと

- 買い物を自分でしたい ⇒ リモートショッピング、移動販売
- 転んでけがをするとその後の生活が心配 ⇒ 街なかで見かけたら、荷物を持つなど、積極的に助ける
- 一人で過ごすのがさみしい ⇒ 交流の場、高齢者サロンに参加する
- 畑の手入れが大変 ⇒ 手入れをしてくれる人を募集する 畑を貸し出す
- 入浴のときが不安 ⇒ デイサービスなどを利用する
- 手指が動かしにくく、櫛(くし)が持ちづらい ⇒ 体操する
- ゴミすてカレンダーの字が小さい ⇒ 市役所に相談
- 重いものを持つのが大変 ⇒ 台車を利用する
- 倒れた時、一人暮らしだと気づいてもらえないから怖い ⇒ 近所づきあいを大切にする お互いを確認する



うーん… やっぱり出来ることが少ない…



高校生から、手作りの名札、フレスレット
デコレーションマスクをプレゼント。



高齢者のサロンの感想

- 名札やプレゼントひとつひとつが手作りで、やさしさを感じ、とてもうれしかった。
- 若い人と話をして元気をもらい、とても楽しかった。
- 笑い声が多く聞けて、みんなが喜んでいました。
- 高校生が考えてくれた体操やゲームはいつもより夢中で行えて、とても楽しかった。
- 高校生が高齢者にできること、みんなで楽しめることを工夫して考えてくれたのがうれしい。
- 高齢者に対してやさしさがいっぱいで、とても充実した時間を過ごすことができた。

高校生のサロンの感想

- 自分たちが考えた出し物を喜んでいただき、とても楽しい空間と時間でした。
- サロンに参加するため名札づくりやプレゼント用のアクセサリづくりは楽しく準備することができました。
- 気さくでたくさん話しかけてくれて、とても温かい印象を受けました。
- 誰もが楽しめるレクを考えて実践するために、いろいろな人の視点に立って考えた。自分のチカラになりました。

高齢者の困りごとを聞いてやっぱり高齢者を
支援する福祉、介護の力が必要なんだなあ！

高校生のアイデアをやってみた



お正月用の黒豆が欲しい



リモートで黒豆を選定中



お正月飾りを選定中



希望の商品が買えました

高校生が考えたリモートショッピングを実践してみました。施設のタブレットでカメラ通信機能を利用し、家にいながらリモートで商品を選び、購入する事ができました。

介護保険制度における買い物支援は購入する品物を事前に確認し、ヘルパーさんが買い物に行く「買い物代行」がほとんどです。

しかし、高齢者の皆さんからは「品物を自分の目で見て決めたい」「店に行って買いたい」といった要望を多く耳にします。

すべての要望に応じることはできませんが、高校生が考えた「リモートショッピング」を行うことで、買い物支援の幅が広がりました。

ご利用者のコメント

お正月飾りもいろいろな物があるんですね！

スーパーの活気ある雰囲気が見られて楽しかったです。

黒豆はこだわりがあるので、見て買えて良かったです。これから煮ます。

介護福祉士になるには

養成施設ルート

高等学校等

介護福祉士
養成施設
(2年以上)

福祉系
大学等

社会福祉士
養成施設等

保育士
養成施設等

介護福祉士
養成施設

実務経験ルート

実務経験
3年以上
+
実務研修

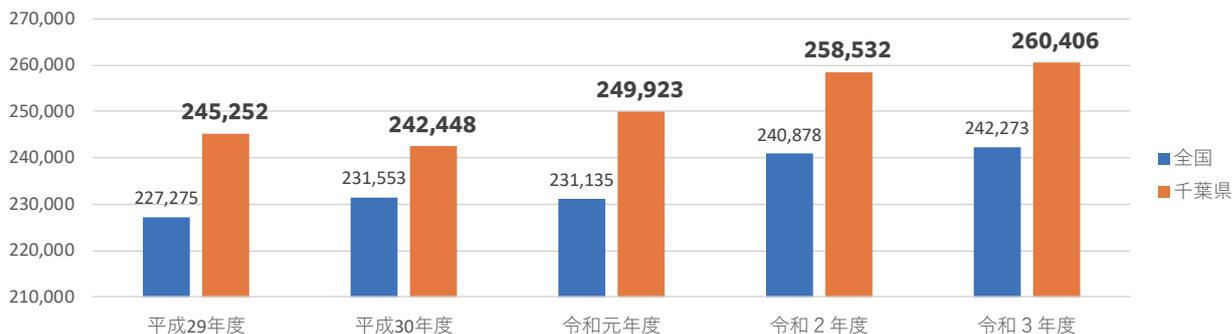
国家試験（筆記試験）

介護福祉士資格取得（登録）

Q1 給与について

介護職員等の平均賃金(所定内賃金(月給の者))

賃金には職種による差があるものの、千葉県内の介護職員等の賃金の平均値は、全国の前年より約7.5%増となっており、年々上昇傾向となっている。



※公益財団法人介護労働安定センター千葉支部による各年度介護労働実態調査の結果より

Q2 介護の仕事をする上で「大事な事」「大変な事」は何ですか？



いろいろな価値観を持った人がいるので、自分が良くてもその人にとって良いとは限らない事など、その見極めが難しく、それぞれの考えを尊重していかなくてはなりません。

何でもやってくれると思って、手に負えないような要求を言ってくる人がいます。その人の病気や精神状態など、よくわかっているからこそ何とかしてあげたいと思うが、板挟みになることがあります。

急変時の対応では、高齢者の精神状態などに配慮し、シミュレーションをする事が重要です。また、サービス利用中に救急搬送の様子を見ている高齢者の心のケアも大事なことです。

Q3 介護の仕事をして「よかった事」「やりがい」は何ですか？



手を握りながら、最期を看取ったとき。その時は悲しくて涙が止まらなかったけど、最後にギュッと手を握り返してくれたのを思い出すと、今でも温かい気持ちになります。生きてきてよかったと思えるようにサポートしていきたいです。

高齢者の配慮や気遣いはとても学ぶことが多いです。自分の体調がすぐれないにもかかわらず、私に何度も感謝の言葉をかけてくれるので、私も見習わなければと、日々、お手本にさせてもらっています。

高齢の方と接するといろいろな知識を教えてもらえ、勉強になります。茶殻をまいてから掃除するとか、料理の隠し味など、自分のスキルアップにもつながっているかもしれません。

Q4 1日の仕事のスケジュールは？

老人ホームの1日

6:00	離床・整容・排せつ介助
8:00	朝食介助
9:00	リネン交換
12:00	昼食介助
13:30	入浴介助
15:00	おやつ
18:00	夕食介助
20:00	就寝支援
21:00	消灯・巡回

早番	7:30 ~ 16:30
日勤	8:30 ~ 17:30
遅番	10:00 ~ 19:00
	12:00 ~ 21:00
夜勤	16:30 ~ 翌9:15
	21:00 ~ 翌7:00

デイサービスの1日

8:30	送迎
9:00	バイタル測定
9:45	入浴介助(午前)
10:30	体操・レクリエーション
12:00	昼食介助
13:00	入浴介助(午後)
14:00	おやつ
15:00	レクリエーション
16:00	送迎

ホームヘルパーの1日

8:15	室内掃除(1件目)
10:00	嚥下食調理・配膳(2件目)
12:00	排せつ介助(3件目)
13:30	事務作業(報告・記録)
15:00	買い物支援(4件目)
16:00	入浴介助(5件目)
17:00	事務作業(報告・記録)

”これから”を支える若いチカラ

近年、急速な高齢化が進んでいる日本では、令和3年10月1日現在の高齢化率は28.9%と超高齢社会に達しています。鴨川市においても例外ではなく、令和4年4月1日現在の高齢化率は39.2%で人口の約4割が65歳以上の高齢者となっています。このような中、介護ニーズはますます増加する一方、介護従事者の高い離職率、介護職への就職希望者の減少、介護福祉士養成校への進学率の低下など、介護人材の確保は困難さを増し、高齢化率の高い安房地域においては介護人材の確保が重要な課題となっています。

鴨川市では、近年、介護従事者の不足から介護サービス事業所の廃止や休業となる事業所もあり、介護が必要な高齢者等を支える社会資源が維持できない事態も発生しているところです。高齢者の多くは地域で生活を続けていくことを希望しており、介護が必要となっても誰もが住み慣れた地域で生活できる地域づくりを進めていくことが重要です。

そこで鴨川市介護サービス事業所協議会では、これから就職を考える人や福祉の資格取得を目指している人、福祉や介護に興味のある人に対し『介護職の重要性』と『介護職の魅力』を発信し、若者の介護職への就労を促進するため、千葉県立長狭高等学校福祉コースの生徒に協力をいただき、“鴨川市介護促進プロジェクト”を立ち上げました。プロジェクトでは介護人材の確保を目的に、介護の魅力伝える方法や資格取得に向けた必要な情報、高齢者との交流方法など、幅広い内容で意見交換を繰り返し、この冊子を作成しました。

地域の”これから”を支えて行くには皆さんのチカラが必要です。この冊子を目にいただき、人と人とのつながりやふれあい、人助けとしての仕事に生きがいを感じ、多くの若者が私たちと一緒に人を支える仕事ができることを希望しています。

鴨川市介護サービス事業所協議会
会長 神定 浩明



介護人材確保対策事業

介護福祉士修学資金の貸付

介護福祉士修学資金
社会福祉士修学資金貸付制度



鴨川市 HP



鴨川市 HP



千葉県福祉人材センター HP

発行元
鴨川市介護サービス事業所協議会
TEL 04-7093-1200
FAX 04-7093-7321
協力
千葉県立長狭高等学校 福祉コース

令和5年2月発行